

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	ヴォイス（ワークショップⅡ）	
科目基礎情報							
開設学科	声優・演劇科		コース名		開設期	後期	
対象年次	1年次		科目区分	必修	時間数	40時間	
単位数	1単位				授業形態	実習	
教科書/教材	適宜、配布する						
担当教員情報							
担当教員	箱田好子			実務経験の有無・職種	有・俳優		
学習目的							
俳優として、声が出るしくみを理解し、正しいイメージ付けをする。 演技や自己PRなど、あらゆる場面において、エネルギーのある適切な声が出せるようになる。 喉を傷めない発声方法を身に付け、プロとして自分の声に責任を持つ自覚を育てる。また、そうできるようにする。 相手に言葉を伝えることを実践し、言葉を扱うプロとしての最低限の言葉の技術を身に付ける。							
到達目標							
声のしくみを理解し、正しいイメージと意識を持つ。 深い呼吸（腹式呼吸）を身に付け、息の支えを使って、喉を楽にしたまま息をたくさん出せるようになる。 深い響きを身に付け、母音が開放される感覚を身に付ける。 自分の声を体と繋げて捉え、身体の癖をあばき、修正できるようにする。 喉を楽にして、相手に伝えるための、声量・エネルギーのある声で表現できるようにする。							
教育方法等							
授業概要	前半は、ウォーミングアップ～発声練習を行う。体を緩めること、呼吸を深めること（腹式呼吸）、息の支えを作ること、響きを深めること、息と母音を開放すること、などを毎回繰り返して練習する中で習得する。 後半は、新しい知識・技術の習得のためにテキストを使用し実践する。 いずれも、ペアもしくはグループでのワークを中心に行う。						
	授業の内容は毎回の積み重ねなので、必ず出席すること。欠席した場合は、授業内容をクラスメイトに聞いて復習してから参加すること。毎回、復習や予習など、具体的な課題・宿題を与えるので、各自クリアしてくること。 動きやすい服装で参加すること。（ジーンズ、ホットパンツなどはNG） 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない						
評価方法	種別	割合	備 考				
	平常点	70%	授業の参加態度、発言の積極性などから総合的に判断する				
	試験	30%	課題ごとの発表（下記の色付きの回）の成果で判断する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	前期の取り戻し			腹式呼吸・深い響きの復習と取り戻し。後期テキストを全員で読み合わせする			
2回	テキスト「よだかの星」①			登場人物の目的・アクションを探る。アクションのエネルギーを出すインプロ			
3回	②相手に語尾まで伝える			語尾まで相手に伝える技術を強化し、相手を動かす声のエネルギーを出せるようにする			
4回	③対話			相手を受ける、対話の技術を学び、その感覚を掴む			
5回	シーンワークの発表①			各ペアが①～③で学んだシーンを発表する			
6回	シーンワークの発表②			各ペアが①～③で学んだシーンを発表する			
7回	シーンワークの発表③			各ペアが①～③で学んだシーンを発表する			
8回	「よだかの星」④叫び声を出す			支えを強化し、大きな声を出す。声を開放する			
9回	⑤テンポ・リズムの変化			体・呼吸のリズムを変化させ、人物の内面の変化を表現する			
10回	まとめの発表①			長台詞の個人発表と講評			
11回	発表②			長台詞の個人発表と講評			
12回	発表③			長台詞の個人発表と講評			
13回	発表④			長台詞の個人発表と講評			
14回	発表⑤			長台詞の個人発表と講評			
15回	発表⑥			長台詞の個人発表と講評			